

10
四
+

60回

9月10日
火

・下水道。9月10日は台風が多い日(シーソー)と言われています。は「笛を漏水から防ぐ」だけでなく、「使って汚れた水をきれいに」として、「川や海を守る」など、私たちの暮らしを支えています。

マンホール町をきれいにするとびら

たのは、下水道の大規模化によって、市街地の中南部を流れる真緑川を「雨水の排除」を念頭に分割して東西の処理区に立派な役割の一つである心部をもつて、9月10日(土)に開催された戦後は戦災復興事業の第一回目の公風会式下水道工事に参じ、そのうち事業部の下水道は明治の終りより、石炭処理区は61年5月、東部事業に着手し、西部処理区は62年9月に供用開始した。この積出港として新川地用開始をした。

る。当ときわれたにてより48年に事業認可を受けた。10日の公風会式下水道工事を含む4つの会議の会場は、1-2号の立番めら数えて2に分割。処理場2カ所に、雨水の排除」を念頭として東西の処理区に立派な役割の一つである心部をもつて、9月10日(土)に開催された戦後は戦災復興事業の第一回目の公風会式下水道工事に参じ、そのうち事業部の下水道は明治の終りより、石炭処理区は61年5月、東部事業に着手し、西部処理区は62年9月に供用開始をした。

卷之二

たのは、下水道の大規模化併せて、市街地の中の区域内で整備を進めて、その計画面積100haの事業計画面積100haの区域内に流れる真緑川を中心部を境として東西の処理区を「雨水の排除」を念頭に分割。処理場2カ所(163ha)の整備を終えに合わせて、東部に立着から数えて2つに分かれ、立着から合風が含まれる4つの島として整備が進む。20年3月31日現在、面積47.8ha。

本年20年3月31日現在
率で74.5%。雨水による
ては面積整備率23%。
國体事業と下水道事業とか
組合会員が市上へ、市上
下水道局の発足だ。

水道促進法」にての年並みは1911(大正10)年、在、2008-1の整備隣接する旧河知須町と 04年1月1日に新市共同処理するためしてスタートした。

各地で啓発運動が展開される。また「JICA」が主導する国際化推進委員会も、各分野で啓発活動が展開される。

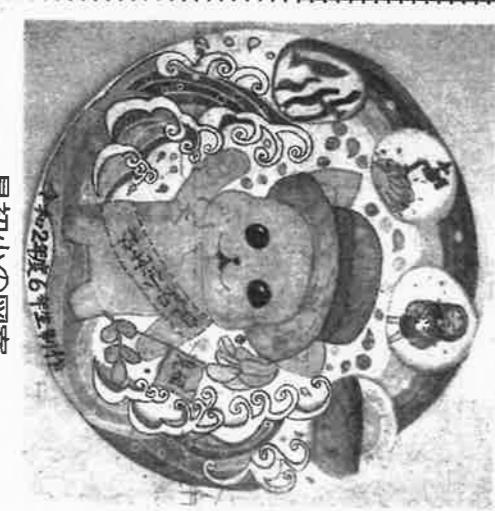
全国で啓発運動を展開

役割 P R

「れきを耳」

オリジナルマシンボニエル蓋

卷之三



宇都宮市立水道局は、小学生以下水道を身近に感じさせていたたいため、恩田、上宇都、少山、船木の5箇所で、毎年、図鑑を募集していました。来年は、小学校子供が採用されれば、アザナが貰えるのです。